

《プロジェクト名：米プラスワンプロジェクト》

市町村	酒田市	対象地域	全域	分野	園芸
実施主体名	特産づくりプロジェクト 実行委員会	代表者氏名	樋口 準 二	住所又は主たる事務所の所在地・連絡先	酒田市漆曾根字千刈3 0234-25-2529
実施主体構成	酒田市認定農業者会議プロジェクト 18名				

プロジェクト 目標（5年後）	産出額（増加額）	10,400千円（10,400千円）				
	独自の目標項目	1 第三の転作作物としての普及、米以上の転作作物栽培への動機づけ 2 認定農業者の連携による特産づくりの普及と拡大 3 農商工連携による新たな観光土産品づくり 4 赤ねぎと赤ニンニク（紫ニンニク）による赤い健康野菜のまちづくり				
各年次目標	現 状	1年目（H22）	2年目（H23）	3年目（H24）	4年目（H25）	最終年（H26）
	産出額	0千円	3,840千円	7,200千円	10,400千円	10,400千円
	独自の 目標項目	収量・販売単価 1,000kg/10a 1,300円/kg 0 0	800kg/10a 800円/kg (40a) (60a)	1,000kg/10a 1,200円/kg (60a)	1,000kg/10a 1,300円/kg (80a)	1,000kg/10a 1,300円/kg (80a)
プロジェクト 概要	◎実施方針	1 JA庄内みどりニンニク部会と連携した産地づくり 2 認定農業者会による成長段階での技術研修 3 認定農業者会による酒田にあった栽培マニュアルづくり				
	○産出額の増大	認定農業者会の地区毎の競い合いによる品質の向上と普及拡大により産出額の拡大を図る				
	○雇用の創出	1 水稻の農閑期の新たな雇用創出（収穫時期が6月下旬から7月上旬） （1）播種期の際の雇用（18人×1人×1日）収穫時期（18人×2人×1日） 乾燥時（18人×1人×1日） 計72人日 （2）加工品試作などの波及効果 3人/1事業×5日×2事業 30人日 計102人日 2 市民を巻き込んだ農業体験による播種と収穫。新たな雇用の創出による消費者との協働				

	○創意工夫	<p>1 ①一般畑 ②転作田 ③砂丘地 の土壌特性を利用した産地化の検討</p> <p>3 ニンニクを利用した食料品づくり、ニンニク料理（らーめん・中華料理など）の地元産100%まちづくり</p> <p>4 赤い農産物によるまちおこし（大根・蕪・メロン・イチゴ・花など）</p>
	○実現性	<p>認定農業者会役員会のモデル事業から約1,000名の認定農業者への拡大と定着を図ることや組織として目標達成に向けた年次計画を作成することから目標達成は可能である。</p> <p>販売については、主にJA庄内みどりニンニク部会と連携した系統出荷のほか、一部は産直施設での地域特産品としての販売を行う。また、各種首都圏での地域特産物のPRイベントに積極的に参加しての消費者への売り込みのほか、インターネットと販売も検討する。</p>
	○地域への波及効果	<p>1 認定農業者会のモデル事業から地区認定農業者の事業化による栽培面積の拡大</p> <p>2 量と品質の確保による産地化の形成から全国からの注目産地となり農業収入の向上が可能</p> <p>3 地産地消、食の安全から飲食業における利用での「安全でおいしい酒田料理」による他産業への経済効果が期待可能</p> <p>4 加工しやすいニンニクによる新たなお土産商品の開発による商工業への波及効果</p> <p>5 第三の転作作物による農業所得の向上</p> <p>6 赤い農産物のまち効果と「おくりびと」などの観光とのマッチングによる観光客数の増加</p>
	○その他	

	実施年度（平成22年度）	実施年度（平成23年度）
事業内容	①種子購入 ②肥料、農薬、資材等購入	①種子購入 ②肥料、農薬、資材等購入